

渡辺ハウジングOBの皆様と
菜菜のお客様にお届けする

やすらぎ通信

渡辺ハウジング
03-3959-8743



春の足音が聞こえながらも、吹く風は未だ頬に冷たく感じられる今日この頃です。

皆さん、如何お過ごしでしょうか？

元日に大地震が発生した能登地方では、復興が思うように進まず、被災された皆さんの心身の健康状態が気になります。

自然災害の威力に対しては何もできず、ただ恐ろしさと空しさが残ります。

現地でのお手伝いができず申し訳ありませんが、遠くから応援しています。



積もった雪が解けるように、少しずつ少しずつ皆さんの心にも暖かい春が届くことをお祈りいたします。

どうぞお体を大切にお過ごしください！

このガスを大量に吸い込むと、器官の粘膜を傷つけ呼吸困難を引き起こしたり、視神経を傷めて失明につながることや、命に関わることもありますので特にご注意下さい。

又、アルカリ性洗剤と酸性洗剤を混合使用すると、中和作用で洗浄効果が減少してしまいます。

●標準使用量

洗剤の標準使用量を守りましょう。

標準使用量は、洗浄効果とお手入れ



箇所への影響の両方を考えて定められています。

例え、濃い液で洗ったとしても、洗浄力はほとんど変わりません。

むしろ材質を傷めることにつながる場合もあるのでご注意ください。

次号に続く

快適な生活をするために（15）

前回に引き続き、皆さんに長く安全に過ごしていただくための住まいを長持ちさせるメンテナンスやチェックポイントなどをお伝えしたいと思います。

今回は、日常使用する各種洗剤についてのお話です。

●住まいの洗剤を上手に使う

住居用洗剤は、ご使用になる前に、必ず表示されている取扱説明書を読んで、用途、標準使用量や使用上の注意などを確認しましょう。

洗剤は使い方を誤ると、洗浄効果が落ちるばかりでなく、思わぬ事故につながることもあります。

洗剤の性質を知り、効率の良いお手入れをしましょう。

●洗剤の混合使用

洗剤の混合使用は、絶対しないで下さい。

万が一、酸性洗剤（トイレ用洗浄剤など）



と、塩素系洗剤（漂白剤・カビ取り剤など）を

一緒に使ってしまうと、有毒な塩素ガスが発生して大変危険です。

「蔞の薹（ふきのとう）」

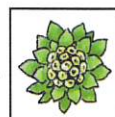
蔞は古くから日本人に親しまれてきた野草で、土手や水辺に自生します。茎を食べることが多い蔞ですが、春に咲く蔞の蕾が「蔞の薹」で、早春を代表する山菜です。

春の山菜には独特の苦みがありますが、実はこの苦みやえぐみが身体にはとても良いもの。山菜を食べると、天然の苦みや辛みが冬の間に縮こまっていた身体に刺激を与えて目覚めさせ、活動的にしてくれると言います。

「春の料理には、苦みを盛れ」という言葉もあるほどです。

野生の蔞を見つけるのは大変ですが、食材として店頭にも並ぶので、この時期、是非味わいたいものです。開き始めた蕾の状態で売られることが多いのですが、花が開いても美味しく食べられます。

春の野菜ならではの香りとほろ苦さが癖になる味わいです。



ゴールだ、おめでとう



新年に開催される箱根駅伝。

すっかり恒例となりましたが、皆さんは、TV中継をご覧になりますか？

寒い中、チームのタスキを繋げるためにひたすら走り続ける姿になぜか感動し、毎年楽しみにしています。今年も無事に終わりましたが、今回は、それに関連するような話を聞いたので書かせていただきます。

俺が小学校6年生の時の話。

俺は生まれつきスタミナがないうえ、本当に仲の良い友達もあまりいなかった。そのせいで、大勢で走るマラソン大会とかは、マジ地獄だった。

そんな俺に、やたらとまとわりついてくる奴がいた。

そいつは、超明るい性格でクラスの人気者。俺とは正反対の奴だった。

正直、そいつが俺はウザくて、向こうからはいろいろ言ってくるけれど、話とかは受け流して、なるべく関わらないようにしていた。

そしてマラソン大会の日。

俺は朝からテンションがめちゃくちゃ低くて、「今回も絶対途中で倒れるよなあ」とか考えていた。

毎年、途中で倒れてゴールできなかったし・・・。

いよいよスタート。

案の定、俺は途中で倒れて、救護テントに運ばれた。情けないやら悔しいやらの複雑な思いがこみ上げたものです。

マラソン大会の後、普通通り授業を受けたその帰り、いつものように一人で正面玄関から出ると、ウザいあいつが、マラソン大会のゴール付近に、朝礼で使う台を置き、そこに紐を結んで立っていた。

で、こっちに向け手招きをしていた。

意味が解らず、無視しようかとも思ったが一応呼ばれた方に行ってみると、

「ゴールテープ切って!」と、そいつが言うんだ。

言われるままに俺がそのテープ(紐)の真ん中を通ると、テープが朝礼台からほどけて、まるで俺がテープを切り、ゴールした形になった。

その時あいつが言ったんだ。

「ゴールだ、おめでとう!」って。



俺は、その時久し振りに声を出して泣いた。

そして、そいつに初めて「ありがとう」と言った。

如何でしたか？ 素敵な話ですね。



余計なことながら、その後の二人の関係が気になります。きっと、熱い友情で結ばれていることでしょう。

「編集後記」

早咲きの梅や桜の便りも聞かれるようになり、いよいよ春の到来です。

暗く寒い冬のトンネルを抜け、明るく暖かい日差しが差す春へと変わるこの頃は、何故か心が弾みますね。

1月は行く、2月は逃げる、そして3月は去る、という言葉があるように、知らぬ間に時は経過し、季節は巡ります。日々変わる気温に振り回されることなく、どうぞお元気で有意義な時間をお過ごしください。

今月号もお読みいただき有難うございました。



「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。

ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

編集責任者 渡辺 田鶴子